資料１－１

議題１　シティプロモーション事業における自治体間の連携について（西尾市提出）

市名	回答	回答	回答
	（１） 自治体間で相互協力・連携を行っているか	（２）	
		広域連携を行う意向の有無	理由
名古屋市	行っていない	○	各自治体が様々な手法で進めているシティプロモーションについて、広域連携を行うことにより、各自治体における機運醸成や、圏域全体の更なる魅力向上に資すると考えるため。
豊　橋　市	行なっている	○	広域連携事業は相乗的に事業効果を高めることが期待できるため。
岡　崎　市	行なっている	○	自治体に限らず、民間団体とも相互協力・連携を行っている。一市町が持つ拡散力が合算されることでより広く広報でき、メディアにも取り上げられやすいと考えられる。 連携し合う市町が、互いの弱みを補完し合い、地域全体としての魅力が高まることが理想的と考える。
一　宮　市	行っていない	○	単独で実施するよりも、広域で連携して実施する方が、より効果的と考える。
瀬　戸　市	行っていない	×	まずは本市の魅力発信を行う必要があると考えるため。
半　田　市	行っていない	○	観光（知多半島観光圏協議会、竜の子街道広域観光推進協議会）や文化（新美南吉）などの分野において、市のイメージ向上やまちへの愛着醸成に寄与する広域的な連携協力は行われているが、定住人口の獲得を目指したシティプロモーション事業としての広域的な相互協力や連携事業の実績はない。今後、定住人口の獲得につながる交流人口や関係人口拡大のための取組として、スケールメリットや、それぞれの自治体の強みをかけ合わせた広域的な取組は検討していく価値があると考える。 （例）抹茶（西尾）×和菓子（半田）
春日井市	行っていない	×	具体的な連携分野が無いため。

資料１－１

議題１　シティプロモーション事業における自治体間の連携について（西尾市提出）

市名	回答	回答	回答
	（１） 自治体間で相互協力・連携を行っているか	（２）	
		広域連携を行う意向の有無	理由
豊　川　市	行なっている	○	東三河８市町村で構成される東三河広域連合（東三河広域観光協議会）で行っており、市域を超えたシティプロモーションが可能になる。
津　島　市	行っていない	○	津島市歴史的風致維持向上計画が令和2年3月に国から認定を受けたことから、同じ認定を受けた自治体と連携してイベント等を企画するなどし、効果的なプロモーションを進めていきたいと考えている。
碧　南　市	行っていない	○	連携によりＰＲ効果がより高まる場合は検討したい。
刈　谷　市	行なっている	○	自治体間で相互協力や連携をすることで、ＰＲ効果や知名度アップの効果が期待できるため。また、定住自立圏として連携する際には、圏域として関係市町間での一体感の醸成にもつながることが期待されるため。
豊　田　市	行っていない	○	今年行われる予定の世界ラリー選手権については、愛知県・岐阜県にまたがる広域で開催されるため、広域連携によるプロモーションが効果的だと考える。
安　城　市	行う予定	○	三河地域新幹線駅利用促進協議会において、地域のプロモーションを行う予定。本地域には観光資源等が分散しているため、連携は必須と考える。
西　尾　市	検討中	○	地域内の関係人口の増加とともに、メディアに取り上げられる機会や注目も高めることが可能となると考えるため
蒲　郡　市	検討中	○	今年度方針策定中
犬　山　市	行っていない	×	現状、未検討
常　滑　市	行っていない	○	市町村単位での点のPRに加え、広域連携による面でのPRも必要と考えるため

資料１－１

議題１　シティプロモーション事業における自治体間の連携について（西尾市提出）

市名	回答	回答	回答
	（１） 自治体間で相互協力・連携を行っているか	（２）	
		広域連携を行う意向の有無	理由
江　南　市	行っていない	○	江南市独自のシティプロモーションを中心に考えているが、広域連携の機会があれば実施したい。
小　牧　市	交流人口の増加(観光)：行っている ｼﾋﾞｯｸﾌﾟﾗｲﾄﾞの醸成(ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ戦略)：行っていない	(観光) ○ (ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ) ×	(観光)交流人口の多い観光資源を持つ自治体との連携を図り、本市への流入を促す。 (ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ)ｼﾋﾞｯｸﾌﾟﾗｲﾄﾞの醸成は、地域の特性や歴史などを考慮しながら進める必要があるため、自治体ごとに状況が違う。
稲　沢　市	行なっている	○	尾張部の自治体は元々大きな差がない中で、個々でプロモーションをしていることに疑問を感じる。地域間で連携してプロモーションを行い、尾張部が活性化したら良しとしたらいいのではないかと考える。
新　城　市	行なっている	○	東三河広域連合を中心とした東三河の知名度向上と誘客を図るため
東　海　市	行なっている	○	近隣自治体で連携して取り組むことで、地域の魅力をより効果的に発信することができると考えます。
大　府　市	行っていない	×	現在は単独での事業展開を進めているため。
知　多　市	行っていない	×	知多半島全体の観光プロモーションを、知多半島観光圏協議会が担っている事例はあるが、各市のシティプロは自治体の特色を生かした発信が必要と考えるため、現時点では意向はない。
知　立　市	行なっている	○	例えば観光分野では、市単独で観光地をPRするよりも、広域でPRをした方がより多くの集客を見込むことができる。
尾張旭市	行っていない	○	今後の人口減少等を考慮すると、広域連携の取組は不可欠であると考えるが、具体的な方策は模索中である。

資料１－１

議題１　シティプロモーション事業における自治体間の連携について（西尾市提出）

市名	回答	回答	回答
	（１） 自治体間で相互協力・連携を行っているか	（２）	
		広域連携を行う意向の有無	理由
高　浜　市	行なっている	×	特に観光を売りにしていないため
岩　倉　市	行っていない	×	スピード感や温度感の差、また地域ごとの特性もあり、広域連携は困難だと考える。
豊　明　市	行なっている	○	シティプロモーションを含めた、広域連携での様々な取組を推進しているため
日　進　市	行っていない	○	広域でプロモーションを進めた方が効果的であると考えているため。
田　原　市	行なっている	○	東三河広域連合において既に実施中(ICTを活用した東三河の魅力発信、ブランドショップの出店等)
愛　西　市	検討中	○	地域一体の注目度を高め、活性化や人口増の対策が必要であり、サービスの維持向上が見込まれるため。
清　須　市	行っていない	×	現在シティプロモーション事業について研究中であり、広域連携についても手法の一つとして考えられるが、実施の検討までは至っていない。
北名古屋市	行っていない	×	広域により進めるべき分野が特にないため。
弥　富　市	行っていない	○	単独より、ある程度の圏域で推進した方が効果的であると考えるため
みよし市	行っていない	○	広域連携により、新たな視点を見出せる。 なお、名古屋グランパスホームタウン（名古屋市・豊田市・みよし市）の３市連携による取組は行っている。
あ　ま　市	行っていない	×	必要性は感じているが、連携する体制が整っていない。

資料１－１

議題１　シティプロモーション事業における自治体間の連携について（西尾市提出）

市名	回答	回答	回答
	（１） 自治体間で相互協力・連携を行っているか	（２）	
		広域連携を行う意向の有無	理由
長 久 手 市	行っていない	×	近隣市において、人口等の状況も異なるため、シティプロモーションについての連携は難しい。そのため、本市では２０１７年度よりブランディング事業を実施し、まずは市内での同事業の周知に務めている。